

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)大学コンソーシアム京都	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

基本事項

所管局課	総合企画局総合政策室	本市出えん金	50,000 千円
基本財産/資本金	100,000 千円	本市出えん率	50.0 %

「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」

方向性	存続	目標年度	-
-----	----	------	---

「今後の方向性」に向けた基本的方針

業務面	京都地域の大学間連携と相互協力を図り、加盟大学・短期大学の教育・学術研究水準向上とその成果の地域社会、産業界への還元を目指すとともに、地域社会、行政及び産業界との連携を促進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした高等教育の発展と社会をリードする人材の育成に取り組む。
財務面	中長期的に増収を見込むことができない状況の中、財団の基幹事業である単位互換事業について、e-ラーニング科目の見直しなど、学生のニーズに合わせた科目の再整理を行う一方で、特色ある科目の開設等を行い「量から質への転換」を図るなど、適切な効果検証に基づく「事業の選択と集中」を一層推進し、財団の組織運営効率化や、収支の改善を図る。
組織面	(公財)大学コンソーシアム京都がこれまで培ってきた「大学、行政、産業界が協力して、大学教育研究活動を向上させ、これを地域社会と産業界へと還元していく」という設立の理念を一層前進させるため、公益認定基準を遵守した公正な運営に努めつつ、限られた人員の中で最大の効果が発揮できる体制づくりに努める。
その他	大学コンソーシアム京都では財団独自の中期計画を策定しており、2019年度から2023年度までの中期計画「第5ステージプラン」を、平成31年3月に策定した。本計画に掲げた施策や目標等を達成するため、年次計画「アクションプラン」を策定し、事業点検と改善を図りながら計画を推進する。

当年度の取組目標に対する意見

所管局	当財団は、設立当初から、「単位互換事業」や「インターンシップ事業」などの基幹的取組に加え、本市との協働事業である「大学地域連携創造・支援事業(学まちコラボ事業)」「学まち連携大学促進事業」などを引き続き実施するなど、本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」に大きく寄与している。 令和元年度決算では当期経常増減額が当初予算よりも改善するなど健全な財団運営に努める姿勢がうかがえる。 今後は新型コロナウイルス感染症による影響を注視しながら、経費削減や事業の選択と集中による効率的な事業運営に努めるとともに、大学間連携のメリットをいかした事業に積極的に取り組んでもらいたい。
-----	--

当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)

団体	当財団の中期計画「第5ステージプラン」の初年度として、概ね計画に沿った事業展開を図っていたが、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によりFDフォーラムを中止する等、一部事業への影響が見られた。
所管局	令和元年度決算では、平成30年度に続き、当期正味財産増減額は黒字となっており、収支の改善に向けた取組の成果が認められる。 設立以来、本市の全大学、短期大学が加盟する大学間連携組織として、本市との協働事業である「大学地域連携創造・支援事業(学まちコラボ事業)」や「学まち連携大学促進事業」、オール京都で留学生の誘致及び受入体制整備などを行う「留学生スタディ京都ネットワーク」の事務局運営を行うなど、本市施策「大学のまち京都・学生のまち京都」の推進に大きく寄与している。 一方、大学を取り巻く状況が厳しくなる中で、今後の状況においては、当財団への期待はより多様化していくものと予想される。定款及び中期計画である第5ステージプラン(対象期間:令和元年度~5年間)において、「財団の果たす役割」に示されているとおり、「大学間連携事業の推進」「加盟校の教育の質向上の追求支援」「地域の発展と活性化への貢献」に資する取組を更に進めていくことが求められる。

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)大学コンソーシアム京都	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

(1)業務に関する取組

目標1「京都地域における大学間連携事業の推進」

中期経営計画 における取組	大学コンソーシアム京都は、京都地域の大学間連携と相互協力を図り、加盟大学・短期大学の教育・学術研究水準向上とその成果の地域社会、産業界への還元、また、地域社会、行政及び産業界との連携を促進し、地域の発展と活性化に努め、京都地域を中心とした高等教育の発展と社会をリードする人材の育成を目指している。第5ステージプランにおいて、①加盟校のニーズに応える事業運営、②大学と地域との連携推進、③交流・プラットフォーム機能の強化、④「大学のまち京都」のブランド化、⑤高等教育を取り巻く環境の変化に対応する先進的で独自性のある事業展開、これら5つの事業推進方針を踏まえて事業に取り組み、本財団ならではの大学連携により、財団の基幹事業である単位互換事業、インターンシップ事業をはじめとする事業を着実に推進していく。
当年度目標	単位互換における京都ならではの学びのフィールドの拡充や受け入れ先の業務改善・活性化に資する新たなインターンシップの展開、高大接続改革の具体化に向けた加盟校の支援、リカレント教育の実施に向けた検討など、高等教育の環境変化を見据え、京都を拠点とした学びの環境充実に向けて、年次計画により事業点検と改善を図りながら計画を推進する。
当年度結果 (※)	単位互換事業については、量から質への転換を図っており、「世界遺産PBL科目」に続く新たなPBL科目の開設に向けて各事業者と協議を重ねた結果、2020年度から新たに「京都ミュージアムPBL科目」を開講することができた。 インターンシップ事業では、平成30年度実績から改善したものの、引き続き企業・団体による採用を目的としたワンデイ型のインターンシップの増加が顕著となった影響等により、約5ヶ月にわたる講義と実習で構成されたプログレスコースへの学生参加と受入企業数については目標を下回る結果となったが、今後の改善に向けて、経済4団体と意見交換を行い、「新たなインターンシップ・プログラムの調査研究」や「メディア等を活用した情報発信」の実施に向け連携することを確認した。

指標1	京(みやこ)カレッジ出願者延数 (単位：人(延数))							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	1,500		1,680		1,680		1,680	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	1,679	1,679	1,680	1,422	1,680	1,570	—	

指標2	インターンシップ(プログレスコース)受講者数, 実質受入 団体・企業数 (単位：上段：人, 下段：社・団体)							
中期経営計画	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
	65		50		50		50	
	10		10		10		10	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	37	31	50	19	50	25	—	
	10	10	10	6	10	8	—	

(公財)大学コンソーシアム京都	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

目標2「キャンパスプラザ京都の利用促進(講義室, 演習室, 会議室等の施設貸出)」

中期経営計画 における取組	<p>京都市大学のまち交流センター(キャンパスプラザ京都)の指定管理者として、京都地域の大学・短期大学等が加盟する財団として、市民と大学の交流拠点として求められるサービスを、最適なコストで提供できるように、更なる効果的な運用を行う。</p> <p>京都駅前の交通至便な立地条件を活かし、大学関係者の利用はもとより、一般の利用者を確保できるよう広報を行い、年間を通して安定した稼働率の維持と施設使用料を確保する。</p> <p>キャンパスプラザ京都は平成12年の開館から平成31年で20年目を迎えた。施設や講義室等の機器も老朽化してきており、改修やリプレイスが必要となってきた。これら改善を適正な時期に行い、利用者の利便性や快適性を図ることで、利用促進を目指す。</p>
当年度目標	<p>キャンパスプラザ京都は、施設条例に定める、大学における学術研究の成果その他の知的資産を活用することにより豊かな地域社会の形成に資するため、大学相互の間及び大学と産業界、地域社会等との間の連携及び交流を促進する活動その他の活動の用に供するために設置された。</p> <p>今年度も引き続き、この施設運営の理念に基づき、単位互換事業や生涯学習事業(京カレッジ)で積極的に本施設を活用するとともに、指定管理者として、講義・演習・会議室等の適切な施設提供並びに保守管理に努める。</p>
当年度結果 (※)	<p>指定管理者として貸室利用者に対するサービスの質の向上を常に心掛け、高い稼働率と前年度並みの使用料収入を維持していたが、2020年2月以降、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴ってキャンセルが増加し、利用状況への影響が見られた。</p> <p>なお、竣工から20年近くが経過し、建物、設備とも更新や大規模な修繕が必要な個所が随所にみられるため、長期修繕計画を作成し、中長期的な視点に立って優先順位を付けながら、計画的に修繕を実施することとしている。当年度は、衛生消火設備の更新を実施し防災設備の強化を図った。</p>

指標	施設の使用料 (単位:千円)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	100,000		115,061		115,061		115,061	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	106,197	103,043	115,061	104,416	115,061	95,467	—	

(令和元年度単年度経営計画)

(公財)大学コンソーシアム京都	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績(※)	予算	実績	
経常収益	417,137	412,349	406,127	391,073			
経常費用	410,393	399,467	405,852	382,601			
当期経常増減額	6,744	12,881	275	8,472			
当期正味財産増減額	6,744	12,881	275	8,472			
資産合計	-	508,527	-	509,613			
負債合計	-	47,256	-	39,871			
正味財産	-	461,270	-	469,742			
うち累積損益額	-	361,270	-	369,742			

目標「より効果的な事業展開に努め、長期的に安定した財政運営を図る。」

中期経営計画 における取組	<p>収入については、財団の経常収益は会費収入と事業収入を基本としている。会費収入については、ほぼ現状維持にあるが、今後、18歳人口の減少に伴い会費収入への影響が懸念される。事業収入については、事業の見直し等に伴う収入減はあるが、生涯学習事業の受講者増に伴う収入増により、ほぼ横ばいとなっている。近年、事業の拡大よりも質の充実に向けた見直しを進めていることもあり、収入について自然増が望めない現状にある。</p> <p>中長期的には増収を見込むことが困難な状況下では、適切な効果検証に基づく「事業の選択と集中」を一層推進し、財団の組織運営効率化や収支の改善を図っていく。</p>
当年度目標	<p>財務状況は比較的安定しているが、大幅な収入増が見込めない状況に変化はないことから、引き続き事業の選択と集中、必要経費の見直しを行い、健全な財務運営に努める。</p>
当年度結果 (※)	<p>前年度に引き続き黒字決算を維持することができた。その一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う事業中止の影響により、公益財務3基準のうち遊休財産保有規定が基準に適合しなかったことから、コロナ禍における加盟校や学生への支援策の実施等により、2020年度の基準適合に努めていく。</p>

指標	収入合計、支出合計（上段：収入，下段：支出）							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	374,820		431,640		431,640		431,640	
	374,601		419,964		419,964		419,964	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	452,238	448,597	431,640	426,322	431,640	407,828	-	
	432,562	440,889	419,964	435,710	419,964	405,140	-	

(公財)大学コンソーシアム京都	令和元年度経営計画 兼 経営努力結果
-----------------	-----------------------

(3)組織に関する取組

目標 研修の実施による職員の資質向上	
中期経営計画 における取組	財団職員としての資質向上を目的とした、財団主催の研修を実施するとともに、自己研修補助制度の浸透を図る。
当年度目標	引き続き、大学間連携組織として、キャンパスプラザ京都の利用者や、多様化する高等教育の環境やニーズに応えられるよう、計画的な職員研修の実施、研修補助制度の積極的な活用により、職員の資質向上を図る。
当年度結果 (※)	職員研修の計画的な実施により、職員の能力向上だけでなく財団職員としての一体感の醸成を図った。また、研修補助制度が職員間に浸透してきたことで制度利用者が増えてきており、有期雇用職員の契約期間満了後のキャリア形成を見据えたサポートにも注力した。

指標	研修実施回数 (単位：回)							
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	-		8		8		8	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績(※)	目標	実績
	8	8	8	11	8	11	-	